

2020 年度

今日から雨が続きますね。傘をさしての登下校。視界が狭くなります。車と自転車に十分注意して事故にあわないように祈っています。



大江の風

6月25日
No.53

今日保健主事の関戸先生が「レモン石鹸を買ってください。」と事務にお願い。石鹸の減り方がとても速いそうです。それだけ子どもたちはしっかり手を洗っているのですね。すばらしい！よいことです。

すごいよ！1年生 『ロイロノート』に挑戦



ログイン！

この前は2年生がタブレットで勉強していました。さあ、今度は1年生の番。1年生もロイロノートに挑戦です。タブレットが1人1台になったら、もっと学習に活用できるし、家庭に持って帰って家庭学習にも使えるし、万が一また休校になったら、遠隔授業も全クラスできるようになります。その準備として、今週はICT支援室の先生に来ていただいて担任の先生と2人でタブレットの使い方を教えてもらいました。一人一人が、IDとパスワードを入力してログインしなければ

なりません。お話をよく聞いて、自分でがんばって入力していました。支援室の先生曰く、「子どもたちがお話をよく聞いてくれるので、ログインまでスムーズにいきました。普通ログインで手間取り、ロイロノートで写真をとって一枚送るまでがやっとなのに、大江の子どもたちは、しっかり話を聞いて実践してくれるので、2時間目にやるはずだった「文字を書いて提出」まで進むことができました。」と、とても褒めていただきました。すごいよ！1年生。感心しました。



みんな意欲的に学びましたね。

さて、小さいころから当たり前のように情報機器が使える環境にある子どもたちには「情報モラル教育」がとても大事です。情報モラル教育の目標は、道徳などで扱われている「日常生活におけるモラル（日常モラル）の育成」と重複する部分が多く、これは情報モラル教育の基本となる態度の育成に欠かせません。道徳で指導する「人に温かい心で接し、親切にする」「友達と仲良くし、助け合う」「他の人との関わり方を大切に」「相手への影響を考えて行動する」「自他の個人情報、第三者にもらさない」などが基盤となるのです。日常の社会では、個人、家庭、地域社会と順に経験しながら、ゆっくりと時間をかけてその関係を理解していくことができるのに対し、情報ネットワークでは、端末を利用したコミュニケーションを開始するとすぐに、見えない人とのつながりや社会との接点が同時に生じることになります。従って、危険回避を行うための具体的な教育が必要な一方、情報化社会の特性やネットワークの理解を深め、自分自身で正しく活用するために的確な判断ができる力を身につけることが必要なのです。1年生から、情報社会やネットワークの特性の一側面として影の部分を理解した上で、よりよいコミュニケーションや人と人との関係づくりのために、今後も変化を続けていくであろう情報手段（ICT）をいかに上手に賢く使っていか、そのための判断力や心構えを身に付けさせる教育を目指していきます。

低学年から「IDとパスワードの大切さ」を学んでいきます。

- あなたがパソコンやタブレット端末、スマートフォンなどを使って手に入れた情報、メールのやりとり、ゲームで使うアイテムやアバター、ゲームでゲットしたポイントなどは、あなたの大切な宝物です。宝物を他の人に勝手に見られたり、ぬすまれたりしないように、IDとパスワードで守ります。
- インターネットの世界で、**あなたがだれかを表す名前がID、それを証明する合言葉がパスワードです。**パスワードは、知らない人はもちろん、友達にも教えてはいけません。IDとパスワードを知られてしまうと、他の人があなたになりすましてネットオークションやネットショッピング、オンライン・ゲームをしたり、友達の悪口をけいじ板に書きこんだり、あなたのパソコンからデータをぬすんだり、消したりしてしまふことがあります。
- 他の人のIDとパスワードを使ったり、自分のIDとパスワードを貸したりするのもトラブルのもとです。もちろん、友達からパスワードを聞き出したり、友達のパスワードを他の人に教えたりするのもいけません。他人のパスワードを別の人に教えたり、人のパスワードを使ったりすることは法律違反でもあります。

【こんなことに注意！】

- ・他の人が簡単に見られるところにID・パスワードを置かない・書かない。
- ・ブログやチャット、けいじ板にID・パスワードを絶対に書かない。
- ・パスワードを他人に知られてしまったら、すぐに変えましょう。